ＫＣＳ福岡情報専門学校

学校関係者評価報告書（令和６年度）

令和６年度の学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：令和６年８月２５日（日）
学校関係者評価委員：
企業委員２名　卒業生委員２名　地域住民委員１名　（計５名）

評価	評価に係る提言・改善等
１．教育理念・目標 全項目について適切に運営している。	問題なく実施されている。（全員）
２．学校運営 ほぼ適切に運営している。 ただし、教務、募集において導入している学園共通のシステムにおいて、一部の募集業務については有効に活用できていない。また、教務、募集のシステム間のデータ共有についても進めてはいるが、効率的に共有できていないデータがある。	特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。（全員）
３．教育活動 ほぼ適切に運営している。 ただし、キャリア教育については、マナーや就職活動に特化した科目を実践しているほか、担任、進路指導担当による個別の進路相談を行っているが、就職年次に集中する傾向があるため、入学次から段階的に実施していく必要がある。	特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。（全員）
４．学修成果 ほぼ適切に運営している。 ただし、卒業生の動向は同窓会経由となっており、現況の把握が十分ではない。	特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。（全員）

５．学生支援 ほぼ適切に運営している。 卒業生への支援体制の一つとして、同窓会のあり方について改善したい。	特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。（全員）
６．教育環境 ほぼ適切に運営している。 ただし、一部の教室において校内ネットワークの整備が完了していない。令和６年度に整備する予定である。	ネットワークについてはセキュリティ面も考慮して整備を進めてもらいたい。（企業委員） その他においては、特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。（全員）
７．学生の受入れ募集 ほぼ適切に運営している。 コロナ禍で自粛傾向にあった高校内でのガイダンスはコロナ前にほぼ戻ってきたが、動員数が減少しているため、直接高校生に情報を伝達する機会としては回復したとは言い難い。ガイダンスや高校訪問を通じて、高校生や保護者への行事参加を推進していく。	特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。（全員）
８．財務 全項目について適切に運営している。	問題なく実施されている。（全員）
９．法令等の順守 全項目について適切に運用している。	問題なく実施されている。（全員）
１０．社会貢献・地域貢献 全項目について適切に運用している。 社会貢献として献血活動の継続や甚大な災害が発生した場合の緊急の募金箱を設置し災害緊急支援金の積極的な募金を呼び掛けていく。	宇宙展のような大規模なイベントでなくても、地域住民向けのパソコン教室やコズミックカレッジのようなイベントを開催してもらいたい（地域住民） その他においては、特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。（全員）

以上